

こっと☆本の宅配便 8月号

発行元 下関市立彦島図書館 〒750-0075 下関市彦島江の浦町1丁目4-2 8
Tel : 083-266-5086 Fax : 083-266-5337



天気

8月の
展示テーマ

天気に関する小説や物語、天気のことを詳しく分かる本を集めました。ぜひ、お手に取ってみてください。

📖 「あいにくの雨で」 麻耶 雄嵩／著 講談社 1996.5

📖 「小説天気の子」 新海 誠／著 KADOKAWA 2019.7

📖 「龍神の雨」 道尾 秀介／著 新潮社 2009.5

📖 「KRY 気象予報士山本昇治の天気のみカタ」

山本 昇治／著 山口放送 2016.6

📖 「トコトンやさしい気象の本」

入田 央／著 日刊工業新聞社 2009.7

📖 「天気図がわかる」

三浦 郁夫／著 技術評論社 2008.3

私は小学4年生の時に、彦島迫町に今もある「彦修館(げんしゅうかん)」という道場で剣道を始めました。そのころは週に3回稽古があり、指導の先生方は常に5～6名おられました。

先日、ある高齢の方が来館されました。高校まで道場によく行っていらしたので、すぐに剣道の先生だとわかり、「お世話になった小山です。」と話しかけたところ、「うん、うん」とうなずかれました。

もう30年以上、お会いできていませんでしたが、突然の再会で、子どもの頃の彦修館での稽古を、とても懐かしく思い出しました。

現在、彦修館で月に2～3度稽古をさせていただいていますが、1960年から70年代、整列時は道場の端から端までいた子どもたちも今は激減し、稽古の際、人数は指導者の方が多いという状況に、寂しさを感じています。

8月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

9:30～18:30

休館日 

☆8月26日・9月30日(金)は館内整理日のため休館いたします。

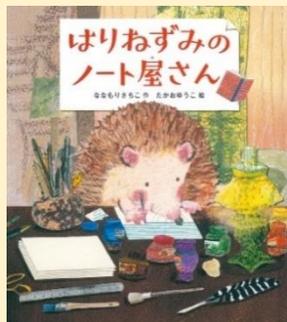


＼今月のおすすめ！／



〈児童〉「はりねずみのノート屋さん」

ななもりさちこ/作 たかおゆうこ/絵
福音館書店



はりねずみのツンタは、はずかしがり屋。
主人公ツンタは、うさぎのトトン、うなぎのヌール、黄色のオウムのポーリーなど、ブランケット村でお友達が沢山出来たのです。その理由は、ツンタがみんなの為に作ったノートのおかげなのです。ツンタはどのように工夫してノートを作ったのでしょうか？

〈一般〉「体の不調がスーッと消える「天気痛さん」の本」

佐藤 純/監修, 片岡 信和/監修
扶桑社



天気痛ってご存知ですか？ 天気の変化に応じて、不調（痛みや気分障害）が出ることです。症状は雨が降る前に頭痛がすること以外にも、めまいや肩こり、たまに聞く「雨の日は古傷が痛むぜ……」というセリフも原因は天気痛なんです！ この本では天気痛のメカニズムから改善方法まで説明されています。もしかしてと思った心当たりのある方は、ぜひ読んでみてください。

〈児童〉「おふろのなかのジャングルたんけん」

まつおか たつひで/作・絵
童心社



「ひとりでお風呂に入ってね」とお母さんに言われた
だいすけくん。おもちゃを持って「さあ遊ぶぞ」とお風呂
の中に潜ると本物のワニがなぜか襲ってきて…、
なんとそこは、アマゾン川！ 見たことがない虫や魚、
動物たち…。たくさんの生き物たちが出てきます。一
緒にジャングル探検をしているような気持ちになれる
絵本です。

〈一般〉「空をこえて七星のかなた」 加納 朋子/著 集英社



「南の島へ行くぞ」父親の思い付きに付き合うよう
に出発することになった七星。そこで待っていたものと
は…。(南の十字に会いに行く) 宇宙飛行士を目指
そうとしていた美星は、同級生の過失で視力を失い
かけた。でも、それは…。(星は、すばる) など、星を
愛する人々の日常の事件を描いた7つの短編集。
「大丈夫。昼間だって、見えないけれど星はそこにちや
んとあるから。」 そっと背中を押してくれる1冊です。